

## 第 227 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 5 回)

日時：2017 年 12 月 27 日 (水) 13:00~17:00

場所：大阪大学・中之島センター・5F 多目的室 501

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

出席者 (敬称略)：林 (会長), 乾口 (副会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 中島 (特任・電子化データベース), 前田 (特任・資料アーカイブズ), 金久保 (財務・会計監事), 堀口 (事業監事), 広兼 (総務)

欠席者 (敬称略)：本多 (事業・研究推進), 能島 (広報), 橋山 (大会デザイン), 工藤 (出版・他学会連携)

### 【審 議】

#### 1. 前回議事録の確認 (資料 227-0：広兼, ML 審議 11/11 承認)

- ・資料 227-0 について説明された.
- ・修正意見については 2018 年 1 月 5 日までに広兼あてに連絡することとした.
- ・修正意見に基づき修正・追加したうえで, 2018 年 1 月 6 日, HP への公開を依頼することとした.

#### 2. Zadeh 先生を偲ぶ会について (資料 227-4-1, 2, 3, 4, 5, 6：前田/資料 227-4-7：乾口)

- ・資料 227-4-1 に基づき, 偲ぶ会の案内を重鎮の先生方にメールにて実施したことが説明された.
- ・資料 227-4-2 に基づき, シニア世代研究会の案内を重鎮の先生方へのメールに添付したことが説明された.
- ・資料 227-4-3 に基づき, SOFT 会員への 2 度目の案内を SOFT-ML にて実施したことが説明された.
- ・資料 227-4-4 に基づき, 出欠の状況が報告された. 12 月 26 日現在で偲ぶ会が 34 名, シニア世代研究部会が 31 名であることが説明された.
- ・中島先生 (富山大学名誉教授) からの依頼の本の宣伝の件について, シニア世代研究会において配布することとした.
- ・シニア世代研究会の会場の定員 30 名に対して出席者が 40 名程度となる可能性があることに対して, 梅田キャンパス事務室に, 椅子のみを入れることが可能であるかを確認することとした.
- ・資料 227-4-6 に基づき, 偲ぶ会の式次第が説明された.
  - ⇒歓談の際, BGM としてクラシック音楽を流すことを確認した. クラシック音楽は乾口理事が準備することが確認された.
  - ⇒当日は式次第と記念 DVD を配布することが確認された. 式次第の作成は林会長が準備し, 記念 DVD は堀尾理事が準備することが確認された.
  - ⇒ザデー先生の写真を額縁に入れて, 花で飾り会場に設置しておくことが確認された. 額縁は能島理事が購入することが確認された.
  - ⇒当日の会場の撮影等を担当するアルバイト 1 名でお願いすることが確認された.

⇒メモリアルムービーについては、FSS2017の時に流したファイルを送ってもらい、それに少し手を加えて作成することが確認された。

⇒偲ぶ会の報告記事は前田理事が作成することを確認した。

⇒会の正式名は「Zadeh（ザデー）先生を偲ぶ会」とすることが確認された。ただし、当日のホテルフロントでの案内は学会名「日本知能情報ファジィ学会」になる可能性が高いことが確認された。

- ・資料 227-4-7 に基づき、偲ぶ会の進行（案）が説明された。
- ⇒進行の案について確認していただき、修正点を指摘してもらうこととした。

### 3. Zadeh 先生追悼論文の募集について（資料 227-6：櫻井）

- ・資料 227-6 に基づき、「Zadeh 教授追悼特集」の論文募集について説明された。
- ・特集号について実施することが承認された。
- ・企画は理事会で行うこととして、会長、副会長、編集委員会を中心に検討することとした。
- ・数を集めるため、掲載料を半額にする方向で進めることとした。
- ・投稿締切を 2018 年 8 月 15 日で進めることとした。
- ・Zadeh 先生の論文を引用することを条件に進めることとした。

### 4. 学会誌表紙の公募について（資料 227-7：櫻井）

- ・資料 227-7 に基づき、学会誌の表紙デザインの募集案について説明された。
- ・学会誌の表紙デザインを募集することが承認された。
- ・表彰状は会長名にすることとした。
- ・日本知能ファジィ情報学会の定款の第 1 章（理念）の最初の 1 文（2 行）をテーマとして募集することとした。

### 5. 学会誌解説記事の原稿料改定について（資料 227-8：櫻井）

- ・資料 227-8 に基づき、解説記事の原稿料の改定案が説明された。
- ・2019 年 2 月号の A4 化に伴い、記事種別ごとに、原稿料を定額にすることが承認された。
- ・ページ数を超過した場合も、超過分については支払わないことを確認した。

### 6. 学会誌の今後の企画について（資料 227-9：櫻井）

- ・資料 227-8 が配布された。
- ・次回理事会にて審議することとした。

### 7. 学会誌 A4 判 2 種印刷の件について（資料 227-10：櫻井）

- ・年配者の意見は、シニア世代研究会で確認することとした。
- ・その他、支部長や研究部会に対して若手研究者を中心とした意見を聞くこととした。

8. Zadeh 先生解説特集にあたっての記載について（資料 227-11：櫻井）

- ・資料 227-11 に基づき、「Zadeh 先生特集解説にあたって」の記事を掲載する件が説明された。
- ・学会誌編集委員長として掲載することが承認された。

9. ファジィ学問塾について（資料 227-12：本多，中島）

- ・資料 227-12 に基づき，2018 年度はファジィ学問塾と SOFT-CR が連携を検討していくことが説明された。
- ・連携によって FSS2018 での企画セッションを運営していくことが了承された。
- ・2017 年 12 月にツール紹介コンテンツの募集・作成依頼，2018 年 1 月に FSS2018 の企画セッションに向けたモデル課題や適用事例案の公表，2018 年 2 月～4 月にツール紹介講義・講演会をファジィ学問塾として開催，2018 年 5 月の FSS2018 の発表申込の締め切りを経て，2018 年 9 月の FSS2018 において企画セッションを運営することが確認された。

10. シニア世代研究会の事業補助金期中申請について（資料 227-13：本多）

- ・資料 227-13 に基づき，シニア世代研究会からの事業補助計画書が説明された。
- ・期中申請について承認された。
- ・黒字分については翌年に持ち越し利用できることを確認した。
- ・期中申請における申請額は，人数等で金額に変更のある場合は，柔軟に対応することとして，メール審議検討を進めることとした。

11. 2018 年度特別会員の申請について（資料 227-14：乾口）

- ・資料 227-14 に基づき，小田哲久氏の特別会員申請書が説明された。
- ・特別会員としての条件（60 歳以上で定職についていない）を満たしていることが確認され，特別会員とすることが承認された。

12. 学会賞（奨励賞の早期決定等）について（資料 227-15：井田）

- ・資料 227-15 に基づき，学会賞選考委員会で審議・承認されたことが説明された。
- ・2 名の推薦者を奨励賞とすることが承認・決定された。
- ・奨励賞の副賞の額は，最低でも IEEE の young research award と同額にすることを確認した。  
⇒最終決定は，young research award の副賞を確認後にメール審議することとした。
- ・懇親会の参加費は無料とすることを確認した。

13. FSS 開催について（資料なし：林）

- ・FSS の開催地の候補として鹿児島大学を検討することとした。

#### 14. IEEE 国際会議の料金について（資料 227-16：林）

- ・資料 227-16 に基づき、国際会議の Technical Co-Sponsorship (TCS) に関する料金について説明された。
- ・この件は、SCIS2018 の大会委員長（山田先生）に伝えるとともに、SCIS2020 に向けて、引き続き検討を行うこととした。

#### 15. 国際計算力学連合（JACM）運営委員の選出依頼について（資料 227-18：広兼）

- ・資料 227-18 に基づき、国際計算力学連合（JACM）運営委員の選出依頼があったことが説明された。
- ・理事会メンバーに適任者の有無を確認し、委員として適任者がいないことを確認した。
- ・国際計算力学連合からの運営委員の選出依頼の中に、「国際的活動の継続性を考えると、これまでと同一の方に JACM 運営委員を引き続いてお引受けいただくことを歓迎する」との依頼文もあることから、引き続き新宮先生に運営委員をお願いすることを確認した。

#### 16. その他

- ・特になし

### 【報告】

#### 1. 学会名鑑の登録状況について（資料 227-1：広兼，ML 審議 11/24 承認）

- ・資料 227-1 に基づき、学会名鑑の登録状況が報告された。
- ・役員数、会員数および学会誌の発行部数を最新の情報に修正したことが報告された。

#### 2. 横幹連合の次期役員候補推薦について（資料 227-2：広兼，ML 審議 11/24 承認）

- ・資料 227-2 に基づき、横幹連合の次期の理事・監事候補の推薦について、希望者がなく、今回は推薦者なしで回答したことが報告された。
- ・この件について、SOFT-ML で学会員全員に対して希望者を募集することをメール審議したが、学会員全員に対して希望者を募集するべきという積極的な意見がなく、今回は理事会内での希望者の募集としたことが報告された。

#### 3. 2018 年度国際誌購読料について（資料 227-3：乾口，ML 審議 11/24 承認）

- ・資料 227-3 に基づき、2018 年度の国際誌購読料を決定したことが報告された。
- ・IJUFKS を除く 3 誌は変化なく、昨年通りの金額（FSS：24,000 円，IJAR：29,500 円，JACII：19,500 円）になることが報告された。
- ・IJUFKS については、金額（雑誌のみ：28,000 円，オンライン：25,500 円）になることが報告された。

#### 4. 【Univa】FSS2017 特別企画について（資料 227-5：堀口）

- ・資料 227-5 に基づき、Univa による FSS2017 特別企画の良かった点や課題などが報告された。
- ・総じて、企業・学生ともに良い印象であったが、企業からは「ポスターセッションでうまく参加者と接点を持てなかった」という要望が上げられており、次回の実施では平行ではない形での実施を検討する必要があることが確認された。また、M2 の学生からは「前年度もやってほしかった」との声もあり、参加対象者を M1 や大学院に進学する学部生などに限定するなどの検討が必要であることが確認された。
- ・FSS2018 に向けて企画をしたいとの要望もあり、次回理事会にて Univa にイベント企画案をプレゼンしていただき、早めに検討を進めていくこととした。

#### 5. 学会誌 2 月号「会長に就任して」の原稿について（資料 227-17：林）

- ・資料 227-17 に基づき、学会誌 2 月号掲載の「会長に就任して」の概要が説明された。
- ・第 15 期理事会で取り組んでいく課題についても盛り込んでいることが報告された。

#### 6. その他

- ・次回理事会の開催日について、2018 年 2 月 19 日から 3 月 10 日の間で日程調整することが確認された。

以上